



## 平成30年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東  
 コード番号 6785 URL <http://www.suzukinet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 横山 勝登 TEL 026-251-2600  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	13,865	21.0	1,376	65.4	1,429	126.1	861	192.3
29年6月期第2四半期	11,456	△4.2	832	2.4	632	△7.3	294	48.4

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 1,177百万円 (108.5%) 29年6月期第2四半期 564百万円 (546.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	69.56	—
29年6月期第2四半期	23.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	21,837	14,027	63.0
29年6月期	19,684	13,216	65.7

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 13,768百万円 29年6月期 12,936百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,953	13.6	2,055	19.0	2,091	24.8	1,140	24.5	92.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年2月13日）公表いたしました「平成30年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期2Q	12,390,000株	29年6月期	12,390,000株
② 期末自己株式数	30年6月期2Q	4,368株	29年6月期	4,368株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期2Q	12,385,632株	29年6月期2Q	12,385,632株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用、所得環境の改善により、成長基調が維持されております。また、世界経済は総じて堅調に推移しながらも、金融市場や政治・経済をめぐる先行き不透明感が強く、地政学リスクの高まりなど留意すべき状況が続いております。

当社グループにおいては、景気回復基調に支えられて、主力の部品セグメントではスマートフォン向け部品の需要が好調に推移し、また自動車電装向け部品も堅調で、安定した受注を確保することができました。

このような状況下、当社グループは、主力スマートフォン部品の生産効率の向上、および高精度の品質維持を実現するために積極的な改善活動を推し進め、収益の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高138億6千5百万円（前年同期比21%増）、営業利益は13億7千6百万円（前年同期比65.4%増）、経常利益は14億2千9百万円（前年同期比126.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億6千1百万円（前年同期比192.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①金型

電子機器向け金型、自動車電装向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は、産業機器部品用や車載部品用が牽引し、自動車電装向け金型を含めて堅調な受注となりました。しかし、試抜き用の銅合金条材料が市場需給バランスの崩れにより入荷が遅れて売上計画に遅延が生じたことで、当セグメントの売上は前年同期比で減少しました。

その結果、売上高は7億8千8百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は1億7千3百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

## ②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器向け部品は全般的に好基調で、スマートフォン向け部品や半導体向け部品の旺盛な需要により増加しました。自動車電装向け部品も安定した市場を背景に堅調な実績となり、当セグメントの売上は前年同期比で増加しました。

中国の連結子会社は、主力の部品需要が回復傾向にあり、今後に期待がもてる状況であります。インドネシアの連結子会社は、体制を刷新して受注活動に傾注しております。

その結果、売上高は109億3千3百万円（前年同期比20.1%増）、セグメント利益は14億3千7百万円（前年同期比54.1%増）となりました。

## ③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機器は、車載関連装置、医療関連装置ともに得意先の増設計画に沿った内容で増加しました。医療器具も市場の増加要求に応えるため、計画的な増産対応を進めております。

その結果、売上高は21億3千8百万円（前年同期比38%増）、セグメント利益は2億6千2百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

## ④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。

売上高は5百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は2千万円（前年同期比8.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①連結財政状態

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の財務状態につきましては、流動資産は101億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億5千2百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が4億6千5百万円、原材料及び貯蔵品が2億3千4百万円、仕掛品が2億3千3百万円増加したことによるものであります。固定資産は116億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億円増加しました。これは主に有形固定資産が6億2千6百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

流動負債は55億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億3千万円増加しました。これは主に買掛金が3億5千2百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億7千万円増加したことによるものであります。固定負債は22億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1千1百万円増加しました。これは主に長期借入金が6億1千1百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は140億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千万円増加しました。これは利益剰余金が7億2千5百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63%（前連結会計年度末は65.7%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億7千万円増加し、14億6千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、11億3千7百万円（前年同期比33.8%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益14億2千5百万円、減価償却費7億1千6百万円、仕入債務の増加による資金の増加3億4千8百万円と資金が増加しましたが、棚卸資産の増加による資金の減少5億1千6百万円、売上債権の増加による資金の減少4億6千万円と資金が減少したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、13億4百万円（前年同期比77.5%増）となりました。これは主に、部品事業の生産設備増設及び更新、立体駐車場建設着手等の有形固定資産の取得による支出12億9千1百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、3億9千5百万円（前年同期比421.4%増）となりました。これは主に、長期借入による収入10億円により資金が増加しましたが、非支配株主への配当金の支払額2億3千万円、長期借入金の返済による支出2億1千8百万円、配当金の支払額1億3千5百万円と資金が減少したことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期通期の業績予想につきまして、平成29年8月10日に公表いたしました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「平成30年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,578,891	1,748,949
受取手形及び売掛金	4,952,198	5,417,284
商品及び製品	199,246	259,400
仕掛品	901,862	1,135,766
原材料及び貯蔵品	1,001,806	1,236,719
その他	369,691	357,802
流動資産合計	9,003,697	10,155,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,724,129	3,672,284
機械装置及び運搬具（純額）	3,172,118	3,605,568
土地	1,439,313	1,439,313
その他（純額）	463,034	708,346
有形固定資産合計	8,798,596	9,425,513
無形固定資産	60,337	63,930
投資その他の資産		
投資有価証券	1,715,357	2,081,978
その他	107,589	111,086
貸倒引当金	△1,136	△1,136
投資その他の資産合計	1,821,810	2,191,928
固定資産合計	10,680,744	11,681,372
資産合計	19,684,442	21,837,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,108,957	2,461,160
短期借入金	1,348,333	1,331,724
1年内返済予定の長期借入金	300,780	470,888
未払法人税等	304,974	439,481
賞与引当金	107,205	116,728
役員賞与引当金	26,900	14,100
その他	709,543	703,609
流動負債合計	4,906,693	5,537,692
固定負債		
長期借入金	228,288	839,990
長期未払金	452,900	438,661
退職給付に係る負債	834,126	850,380
その他	45,762	143,219
固定負債合計	1,561,077	2,272,251
負債合計	6,467,771	7,809,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,435,300	1,435,300
資本剰余金	1,379,280	1,254,408
利益剰余金	9,251,515	9,976,854
自己株式	△1,130	△1,130
株主資本合計	12,064,965	12,665,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	798,122	1,036,961
為替換算調整勘定	126,900	116,785
退職給付に係る調整累計額	△53,097	△51,086
その他の包括利益累計額合計	871,925	1,102,660
非支配株主持分	279,779	259,257
純資産合計	13,216,670	14,027,351
負債純資産合計	19,684,442	21,837,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	11,456,632	13,865,430
売上原価	9,741,531	11,582,242
売上総利益	1,715,101	2,283,187
販売費及び一般管理費	882,657	906,314
営業利益	832,443	1,376,873
営業外収益		
受取利息	4,102	1,884
受取配当金	16,595	23,286
受取賃貸料	2,954	3,408
為替差益	—	33,440
スクラップ売却益	4,109	5,227
その他	3,789	3,552
営業外収益合計	31,550	70,799
営業外費用		
支払利息	13,397	15,712
為替差損	216,407	—
支払補償費	—	2,320
その他	1,939	56
営業外費用合計	231,744	18,089
経常利益	632,250	1,429,583
特別利益		
固定資産売却益	1,936	8,520
その他	—	0
特別利益合計	1,936	8,520
特別損失		
固定資産売却損	2,162	11,223
固定資産除却損	3,243	1,373
特別損失合計	5,405	12,596
税金等調整前四半期純利益	628,781	1,425,507
法人税、住民税及び事業税	316,317	462,067
法人税等調整額	△7,569	△3,405
法人税等合計	308,748	458,662
四半期純利益	320,033	966,845
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,274	105,264
親会社株主に帰属する四半期純利益	294,758	861,581



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	320,033	966,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190,976	238,838
為替換算調整勘定	50,491	△30,472
退職給付に係る調整額	3,026	2,010
その他の包括利益合計	244,494	210,376
四半期包括利益	564,527	1,177,222
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	526,607	1,092,315
非支配株主に係る四半期包括利益	37,919	84,906

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	628,781	1,425,507
減価償却費	623,054	716,169
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,884	9,220
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,700	△12,800
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,925	19,132
受取利息及び受取配当金	△20,697	△25,171
支払利息	13,397	15,712
有形固定資産売却損益 (△は益)	225	2,703
有形固定資産除却損	3,218	1,373
売上債権の増減額 (△は増加)	△98,476	△460,338
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,636	△516,847
仕入債務の増減額 (△は減少)	211,356	348,293
その他	△119,910	△79,376
小計	1,245,421	1,443,578
利息及び配当金の受取額	21,901	26,035
利息の支払額	△11,978	△11,199
法人税等の支払額	△405,020	△320,889
営業活動によるキャッシュ・フロー	850,324	1,137,525
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△694,948	△1,291,167
有形固定資産の売却による収入	7,728	26,146
投資有価証券の取得による支出	△19,563	△23,181
その他	△28,268	△16,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△735,052	△1,304,459
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	469,623	△20,755
長期借入れによる収入	150,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△137,660	△218,190
配当金の支払額	△135,725	△135,742
非支配株主への配当金の支払額	△270,480	△230,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,758	395,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	163,555	△58,041
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	354,585	170,036
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,979	1,291,026
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,482,565	1,461,063

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年7月1日 至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	800,367	9,100,697	1,550,170	11,451,235	5,397	11,456,632	—	11,456,632
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	266,944	△138,890	94,317	222,371	36,600	258,971	△258,971	—
計	1,067,311	8,961,807	1,644,488	11,673,607	41,997	11,715,604	△258,971	11,456,632
セグメント利益	193,808	932,527	219,737	1,346,074	19,413	1,365,488	△533,044	832,443

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△533,044千円には、セグメント間取引消去△26,900千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△516,018千円、棚卸資産の調整額16,681千円及びその他の影響額△6,807千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年7月1日 至平成29年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	788,092	10,933,219	2,138,806	13,860,118	5,312	13,865,430	—	13,865,430
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	269,124	△255,382	181,002	194,744	36,600	231,344	△231,344	—
計	1,057,217	10,677,836	2,319,809	14,054,863	41,912	14,096,775	△231,344	13,865,430
セグメント利益	173,249	1,437,032	262,953	1,873,236	20,985	1,894,222	△517,348	1,376,873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△517,348千円には、セグメント間取引消去△4,298千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△510,698千円、棚卸資産の調整額2,038千円及びその他の影響額△4,390千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。